

GAIN 研究者再登録についてのご案内

京都大学霊長類研究所

### 【これまでの経緯】

GAIN（大型類人猿情報ネットワーク）事業は、チンパンジー・ゴリラ・オランウータンについて、日本国内で飼育されている個体の情報を収集し、データベース化し、一般に開示して、学術研究の推進に供する事業です。事業は、平成14年度に文部科学省の受託研究事業として、東京大学と京都大学の協力で始まりました。平成21年度からは補助金事業として、国立遺伝学研究所と京都大学（霊長類研究所と野生動物研究センター）が連携して進めています。

GAINでは、これまで大型類人猿（チンパンジー、ゴリラ、オランウータン）などに関するサンプルの利用を希望する研究者の登録を進め、それらの方々へサンプルを提供してきました。しかし、成果発表や試料提供側との意思疎通などに改善すべき点が多く、現在では一旦試料提供を限定し、新たな体制を模索しています。

現状としては前述のように、当事業が平成21年度からナショナルバイオリソースプロジェクト（情報）として補助金化され、京都大学霊長類研究所が担当部局として資・試料の収集に努めています。しかし、実質は数名の有志による活動に留まり、動物たちの献体を有効に活用するには力不足な状態です。

昨年度末（2010年3月6日）、愛知県犬山市において、ユーザー登録されている研究者の有志の方々にご参集いただき、主に今後のユーザー側（資・試料を希望する研究者側）の体制について以下の事項について話し合う機会を持ちました。

- (1) 資・試料の収集・保管・活用方法についてのユーザーグループの協力体制
- (2) 動物園などの資・試料提供機関へのフィードバック方法について

(1) に関しては、将来的に資・試料の収集・保管・配布を一元的に管理できる施設と組織を整えて行く方向で努力するということになりました。実際に、霊長類研究所が中心となり、概算要求等で予算化への努力を進めているところです。ただし、予算化されるまでの経過措置として、昨年度までの運用方法を踏襲し、霊長類研究所が担当部局として中心となり資・試料の収集・保管を行なう事となりました。具体的には、GAIN予算の中から情報・資・試料収集者、診断・解剖担当者の出張経費やRNAlater等の消耗品を購入し、霊長類研究所資料委員会の予算・設備を共用する形で資・試料の保管・管理を行なっています。従って、動物園等の資・試料提供機関とGAIN代表者である霊長類研究所所長との間で資・試料譲渡に関する書類を交わして保管に努めております。また、霊長類研究所の共同利用・共同利用機関の役

割として、これらの資・試料を共同利用研究員の方々に使用していただく方向での運用を考えています。

いずれにしましても、資・試料提供に関しては、GAINの理念を理解され、資・試料利用ガイドラインに同意された方に再登録いただき、審査を経た後、承認された方のみを対象に行なっていくこととなります。

(2) に関しては、従来のGAINの資・試料利用ガイドラインである

- ① 資・試料の第三者への譲渡禁止
- ② 資・試料利用結果の報告実施
- ③ 登録した所属、職階、研究テーマ情報の一般公開
- ④ 資・試料を利用した学会発表や論文公開時には事前にGAINを通じて試料提供機関に連絡を行なった上、譲渡された試料を利用したことを明示し、講演要旨や論文別刷をGAINへ提出

への同意に加えて、

⑤ 動物園などの資・試料提供施設に協力できる事項（講演、診断、教育等）に関して、ユーザー側が積極的・自発的に資・試料提供機関との連携を深めていく努力目標を新たに決めました。

以上を踏まえ、再登録ガイドラインを改訂しました。次ページ以降のGAIN研究者再登録ガイドラインにご同意いただける方に、資・試料提供を再開したいと考えております。

GAINの理念をご理解いただき、研究者の方々のご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

GAIN事業代表者 松沢哲郎

【GAIN研究者再登録に関するガイドライン】

GAIN（大型類人猿情報ネットワーク）では、大型類人猿（チンパンジー、ゴリラ、オランウータン）などに関するサンプルの利用を希望する研究者の登録を進め、それらの方々へ資・試料を提供しています。

以下のような研究者は、研究者登録フォームにて再登録手続きをおこなってください。

※ なお、登録には倫理委員会による審査があります。研究内容によっては、登録・利用ができない場合もありますのでご了承ください。

- ◆ 死亡した類人猿の臓器・組織・骨格などのサンプル利用を希望する方
- ◆ 類人猿出産時の胎盤や臍帯血などのサンプル利用を希望する方
- ◆ 健康診断時の血液や毛などのサンプル利用を希望する方
- ◆ 生きている類人猿を対象に非侵襲的な方法での研究利用を希望する方
- ◆ 上記について、情報が欲しいと考えておられる方

※これらの資・試料は、飼育施設から提供される余剰サンプルの有効利用という観点からの提供です。また、非侵襲的な研究とは、ヒトにも適用可能な研究を意味します。具体例としては、行動観察やストレスが少ない方法での血液の採取などが考えられます。

ユーザー再登録には、GAINの資・試料利用ガイドラインである

- ① 資・試料の第三者への**譲渡禁止**
- ② 資・試料利用結果・保管状況の**年度単位**での報告実施
- ③ 登録した所属、職階、研究テーマ情報の**一般公開**  
([http://www.shigen.nig.ac.jp/gain/researcher\\_introduction.jsp](http://www.shigen.nig.ac.jp/gain/researcher_introduction.jsp))
- ④ 資・試料を利用した学会発表や論文公開時には**事前に**GAINを通じて資・試料提供機関に連絡を行なった上、譲渡された資・試料を利用したことを明示し、講演要旨や論文別刷をGAINへ提出  
([http://www.shigen.nig.ac.jp/gain/report\\_and\\_citation.jsp](http://www.shigen.nig.ac.jp/gain/report_and_citation.jsp))

への同意が必要になります。また、②の報告実施に関して、所定の期間内（2010年度の報告に関しては2011年4月末を予定）に提出いただけない場合や、その他、当該のガイドラインに対する違反行為が認められた際には、当該研究者への資・試料提供を停止させていただくことがあります。

GAINユーザーへの再登録が承認される、資・試料が利用可能となった場合にメーリングリストにてこれらの情報を得ることができます。また、希望する資・試料が利用可能な場合は提

供を受けることができます。ただし、場合によっては、保管してある資・試料をユーザー自ら採取していただくことをお願いすることもあります。資・試料受領や採取の際にかかる費用は、実費・受益者負担です。ただし、ユーザー全体の利益となると判断される共通の試料収集や保管についてはGAINからの支出も考慮されます。また、資・試料提供は、倫理上および資・試料の分量や保存上、可能と判断された場合のみとさせていただきます。

すべてのGAINの資・試料利用ガイドラインに同意され、GAINによる資・試料の利用希望を希望される方は、以下のGAINユーザー再登録フォームに必要事項を記載していただき、下記までメールにて資・試料使用希望を提出してください。

GAIN連絡先：[gain@pri.kyoto-u.ac.jp](mailto:gain@pri.kyoto-u.ac.jp)

代表者連絡先：

〒484-8506

愛知県犬山市犬山官林41-2 京都大学霊長類研究所

松沢哲郎

TEL：0568-63-0547

FAX：0568-62-2428

======(GAINユーザー再登録フォーム)=====

**【研究者情報】**

名前：

ふりがな：

E-mail：

所属：

職名：

住所：

電話番号：

研究分野：

研究内容（資・試料の使用目的などを含めて5～10行で具体的に記載してください）：

**【GAINに対する情報】**

必要とする資・試料（部位、量、保存方法など可能な限り具体的に）：

資・試料の採取方法（詳細な採取方法プロトコルの添付）：

動物園などの資・試料提供機関に協力できる事項（講演、診断、教育等、具体的に）：

======(GAINユーザー再登録フォーム)=====

なお、GAINの登録は年度毎に行なう予定です。2011年度以降に関しても資・試料の提供を希望される方は再度、登録が必要になります。

GAINの活動は、種の保存の観点からも、学術上の観点からも極めて重要な大型類人猿の研究を進めるために、動物園や研究施設から資・試料を提供いただいています。また、資・試料提供関係者と研究者が長年に渡って築き上げた関係の上にGAINは成り立っています。ユーザーの方々には、資・試料が利用可能になる前から、可能な限り資・試料を提供していただいている動物園や施設の方々と交流を持って情報を交換していただくことを強く切望いたします。

そういう交流の場のひとつとして、毎年SAGA（アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い（Support for African/Asian Great Apes））を開催しており、平成22年度は11月13日（土）、14日（日）に横浜（よこはま動物園ズーラシア・麻布大学）で開催される予定です。

SAGAのWebサイト：<http://www.saga-jp.org/>

GAINユーザーへの再登録を希望される研究者の方々には可能な限り、SAGAのように研究者と動物園関係者が集まる場に参加していただき、GAINを通じて得た研究成果のフィードバックや資・試料提供機関との交流を持っていただき、GAINの活動の更なる発展に貢献していただけるよう重ねてお願い申し上げます。